

海岸保全事業の経緯

昭和36年～
護岸

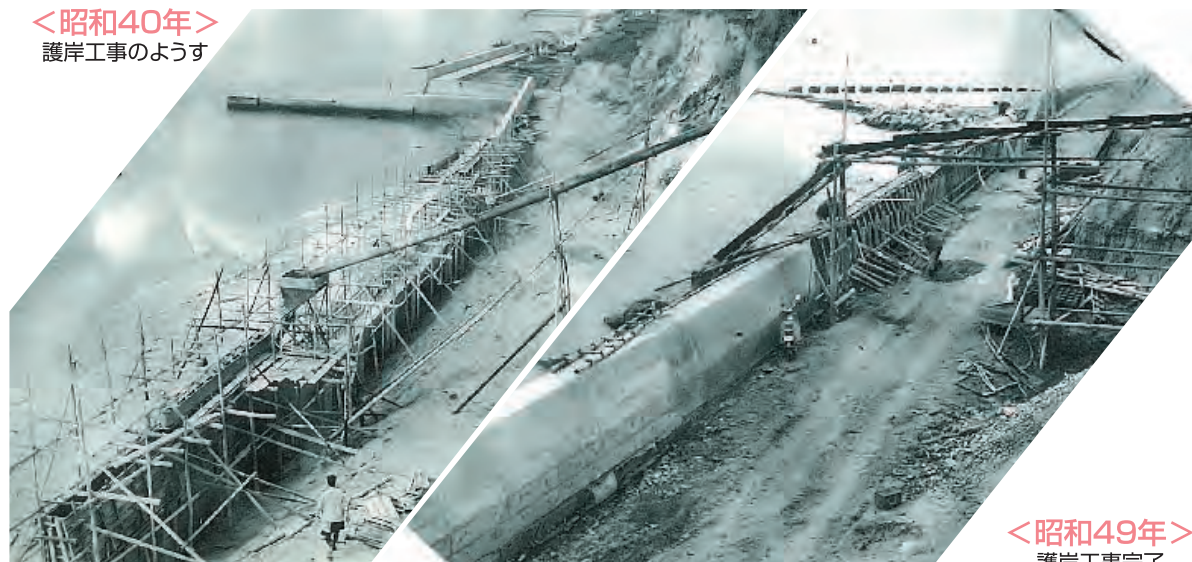
護岸は、高潮や高波、津波から地域の人々の生活を守るために海岸線につくられる施設です。護岸の整備は昭和36年から進められています。

明石市大久保町江井ヶ島地先



<昭和39年頃>
手前は侵食により崩壊したタコ壺工場

<昭和40年>
護岸工事のようす



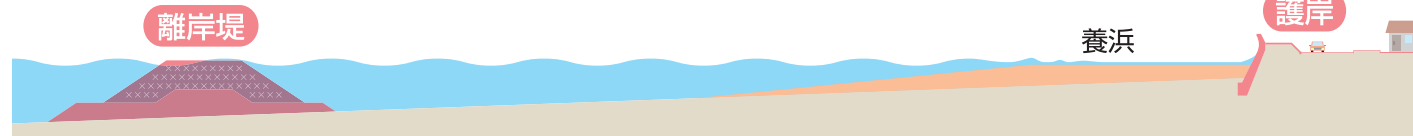
<昭和49年>
護岸工事完了



離岸堤

養浜

護岸



昭和46年～
離岸堤

離岸堤は、海岸線と平行に沖合につくられた施設で、沖からくる波を小さくする役割をもっています。離岸堤の整備は昭和46年から進められています。

神戸市垂水区塩屋地先



<昭和60年>
クレーン船によるブロックの据付け



<昭和60年>
据付けられたブロック

